※令和４年度以降入学生用

学校番号	3002

令和５年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	現代高等保健体育（大修館）						
副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

教科書を中心に、基礎的事項を確認しながら学習する。
保健ノートを活用して、理解を深めさせる。
新聞記事やニュース等身近な問題を取り上げ、興味・関心を持つことができる授業を展開する。

２　学習の到達目標

・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。
・健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりをめざし、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代社会の健康課題や安全な社会生活について、個人や集団に対して課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。	現代社会の健康課題や安全な社会生活について、個人や集団に対して課題の解決に役立つ基礎的な知識を活用し、総合的に考え、他者に伝えることができる。	現代社会の健康課題や安全な社会生活について、個人や集団に対して課題の解決に役立つ基礎的な事項について意欲的に学習に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	現代社会と健康	・健康の考え方と成り立ち ・私たちの健康のすがた	a:我が国の健康課題について理解したことを説明したり記述したりすることができる。 b:我が国の健康課題について個人や社会での解決方法について筋道を立てて説明したり記述したりすることができる。 c:我が国の健康課題の解決についての学習に意欲的に取り組もうとしている。	・定期考査 ・提出物	・定期考査 ・提出物	・提出物 ・学習状況の観察 ・振り返りシート
		・生活習慣病の予防と回復 ・がんの原因と予防 ・がんの治療と回復 ・運動と健康 ・食事と健康 ・休養、睡眠と健康	a:生活習慣病について理解したことを説明したり記述したりすることができる。 b:生活習慣病の予防や治療について筋道を立てて説明したり記述したりすることができる。 c:生活習慣病の予防や治療についての学習に意欲的に取り組もうとしている。			
2		・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康	a:望ましくない行動が健康を脅かすことを理解し、それらを説明したり記述したりすることができる。 b:望ましくない行動の防止について筋道を立てて説明したり記述したりすることができる。 c:望ましくない行動の予防についての学習に意欲的に取り組もうとしている。			

※令和４年度以降入学生用

		・精神疾患の特徴 ・精神疾患の予防 ・精神疾患からの回復	a:精神疾患の特徴、予防や回復について理解し、それらを説明したり記述したりすることができる。 b:精神疾患の特徴、予防や回復について筋道を立てて説明したり記述することができる。 c:精神疾患の特徴、予防や回復についての学習に意欲的に取り組もうとしている。			
		・現代の感染症 ・感染症の予防 ・性感染症、エイズとその予防	a:さまざまな感染症やエイズについて理解し、それらを説明したり記述したりすることができる。 b:さまざまな感染症やエイズについて筋道を立てて説明したり記述したりすることができる。 c:さまざまな感染症やエイズについての学習に意欲的に取り組もうとしている。			
		・健康に関する意思決定、行動選択 ・健康に関する環境づくり	a:健康の保持増進について理解し、それらを説明したり記述したりすることができる。 b:健康の保持増進について筋道を立てて説明したり記述したりすることができる。 c:健康の保持増進についての学習に意欲的に取り組もうとしている。			
3	安全な社会生活	・事故の現状と発生要因 ・安全な社会の形成 ・交通における安全	a:事故の発生要因や防止について理解し、それらを説明したり記述したりすることができる。 b:事故の発生要因や防止について筋道を立てて説明したり記述したりすることができる。 c:事故の発生要因や防止についての学習に意欲的に取り組もうとしている。			

※令和４年度以降入学生用

		・応急手当の意義とその基本 ・日常的な応急手当 ・心肺蘇生法	a:応急手当や心肺蘇生法について理解し、それらを説明したり記述したりすることができる。 b:応急手当や心肺蘇生法について筋道を立てて説明したり記述したりすることができる。 c:応急手当や心肺蘇生法についての学習に意欲的に取り組もうとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度